



## 日産自動車もマグナムの恩恵を受ける

日産自動車(在英國工場)はクランクシャフト製造工場内の研削盤の潤滑油再循環ポンプに頻繁に発生するトラブルに悩まされていた。その結果分解修理費として 1,000 ポンド、さらに機械のダウンタイムに起因する計り知れないコストがかかることとなっていたが、この問題を解決するには、装置のベッドにコンタミが堆積するのを防ぎ、研磨工程内の品質管理レベルを向上させる必要があると考えられ、問題解決のために、MAGNOM の英国北部地区販売代理店 Linden Group 社にアプローチがあった。同社は冷却装置の前に MAGNOM クリア 20" ユニット 2 つを平行して取り付け付けた。それは冷却機やポンプのような重要部品の保護にもつながった。装着後、2,3 日おきに取り出してみると、MAGNOM クリア 20" ユニットから 8kg 以上のコンタミが捕捉される結果となった。品質レベルの向上から実質的な節約につながっただけでなく、分解修理やダウンタイムの必要も大幅に減少し、数千ポンドものコスト削減に至った。MAGNOM テクノロジーがコスト削減に大いに貢献したという結果を踏まえて、同工場内の他の研磨装置にも同様に MAGNOM を取り付け付けたことが決まっている。

配管寸法は 2" であるため、配管口径 1 1/2" BSP のクリア 20" が 2 つ設置された。液温は約 30~40 度と低く、常用圧力は 5 bar 程度。フィルターは 2,3 日に一度は洗浄され、毎回 9Kg ものコンタミが除去された。同社はベースを上げるために、クリーニングキャビネットも購入している。

## 風力タービン用に開発された MAGNOM

FCS社は、風力タービンのオーナーや OEM からのあついで要望に応じて、風力タービンが抱える問題解決に向けた MAGNOM プレフィルターを開発してきた。これまでのフィルターでは捕捉し得なかった程の微細なコンタミを除去することで、既存フィルターの延命、オイル清浄度の改善を実現することが出来、さらには部品の寿命も延び、修理・点検費用も大幅削減できた。現在、FCS 社はプレフィルタ ユニット(右写真参照)を Vestus 社に供給し、そこで試験的に使用している。このユニットは Mahle 社の 10" オイルエレメントの下部に連結して使うように設計されたものである。



## 金属形成でも続々と成果を上げる MAGNOM

ある国際的なパイプ・フォーミング メーカーは工場内の成型部門で、加工工程の効率向上と仕上がりの製品の清浄度を共に改善しようと模索していたが、品質管理チームにとっての最大の関心事はパイプ・フォーミングの冷却用乳化液(化学合成系エマルジョン)であった。成型工程を冷却液が循環する内に鉄系コンタミが液中に浮遊し、それが液の寿命を縮めると同時にスチール部材に付着して埋め込まれていくことになる。同社はテスト仕様として、フィルター回路に MAGNOM ユニット 2機を取り付けた。MAGNOM クリア 5" を既存のフィルターの上流、タンクと濾過システムの間設置したわけだが、それは有害な鉄コンタミを除去するだけでなく、既設の濾過システムを補強するための措置であった。2機目として MAGNOM プロセス ユニートをリターンラインに組み込んだ。工程の性格上、比較的粒度の大きなコンタミが捕捉されるものと予想されていたが、設置後まもなく 2種類の MAGNOM ともコアを取り出して調べてみると、左写真で見られるように、鉄系コンタミがびっしり詰まっており、テストは成功したと評価され、品質管理チームは同工場内の他の機器にも MAGNOM テクノロジーを導入して行く意向を示している。



## MAGNOM サポート資料

クリーニングの簡便さを示すビデオ(右写真参照)、仕様書、全 MAGNOM 製品カタログの電子バージョン(編集、翻訳に便利)、プロモーション用印刷物等、サポート資料をさらに準備しています。その上、MAGNOM 商標のついたプロモーション用製品やバナー・スタンドも購入可能です。全マーケティング用資料についてさらに詳細をお知りになりたい方は、MAGNOM UK オフィスまでメール(marcus.taylor@magnom.com)にてお問合せください。



## MAGNOM は、その効果を即ご覧いただけます！

フィンランド MAGNOM 販売代理店、Rotec Engineering 社は「クイックテスト」MAGNOM ユニットを活用して、ユニークなプロモーションを行っている。金属加工機械ラインに取り付けて MAGNOM フィルターの捕捉能力を顧客の目の前でデモンストレーションするという意図である。ラバー・ホースの付いた MAGNOM クリア 5" ユニットはパイプにつなぎ、数分間プロセス液体が MAGNOM のコアを通して流れるまで手で支える。ほんの短時間のテストでも、コアを取り出して調べてみると少量の鉄コンタミが捕捉されているのが見受けられる。こうして MAGNOM の特許技術がユーザーにもたやすリットを即座に見て頂けます。



## MAGNOM は鉱山でも大活躍



米 MAGNOM 販売代理店、GP Services社は、建設車両向け MAGNOM 販売を主なターゲット市場に定めた。最近GPは鉱業分野を検討してきたのだが、左写真はMidi ユニットが油圧冷却サキットに組み込まれたルーフ・ポルターである。以前はバルブのトラブルのため設備ディーラーが呼び出されることが度々あったが、マグナムを据え付けてからはそうした問題そのものがなくなったとのことである。

## 新興国販売代理マネージャー

MAGNOM チームは Arch Saxe 氏を南北アメリカの営業、流通部門の副社長として迎えることを喜びのうちに発表いたします。長年にわたって工業製品を北米で販売展開してきた彼なら、ヨーロッパで実証されてきた MAGNOM の潜在能力を十分発揮するのに大いに貢献してくれることでしょう。Arch 氏には、メール(arch.saxe@magnom.com)、もしくは電話(001-312-315-2487)でお問い合わせください。